



所在地 大崎市／ラムサール条約2008年10月登録

「化女沼」は、治水とかがいを目的としたダム湖で、ガンカモ類をはじめとする渡り鳥の重要な越冬地となっています。特に亜種ヒシクイは、毎年1,000羽以上が飛来し、国内飛来数のほとんどがここで越冬するといわれています。また、自然湖をダム化したため、ハスなどの水生植物も非常に豊かな場所になっています。



バタ崎さん (©2013大崎市#329)

— 徒歩観察ルート

ねぐら入り観察ポイント

飛び立ち観察ポイント

化女沼展望広場 (長者原SA上り線内)

化女沼のハス

マガンの飛び立ち (11月～2月)

みどころ

冬のダイナミックなマガンのねぐら入りや飛び立ち、夏には、沼がハスやヒシに覆われ、その上を多くのトンボ類が飛び交い、美しい風景を見ることができます。

国道4号

県道266



亜種ヒシクイ (11月～2月)



キイトンボ (6月～8月)

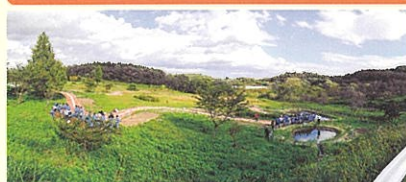


ホシハジロ (12月～3月)



ノハナショウブ (6月～7月)

自由広場・環境教育ゾーン



四季折々の湿地帯の草花や里山の樹木のほか、ピオトープ池では昆虫や小魚など様々な生きものの観察など、身近な自然が体験できます。

所在地：宮城県大崎市古川小野字遠沢2-2
TEL：0229-23-2281

化女沼ダム観光資料館



所在地：宮城県大崎市古川小野字遠沢2-2
TEL：0229-28-1353
開館時間：午前8時30分から午後5時30分まで
入館料：無料
休館日：月曜日 (祝日の場合はその翌日)・年末年始